

# あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター  
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1  
愛知県東大手庁舎 1階  
TEL：052-954-6722  
FAX：052-954-6993  
開館：月～金 10～17時



おこるたのし  
いーる



コメント：夏といえばプールだよね。

増田<sup>ますだ</sup>亜<sup>あこ</sup>瑚さん 5歳（年長）

## <表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています>

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？興味があればご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明（30字程度）③掲載するお名前 ④学年（年齢）⑤保護者の方の連絡先（氏名・メールアドレスまたは電話番号）を明記のうえ、メールまたはFAXにてお送りください。

## <発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？初めての方でも安心して参加できます。

8月10日号の予定			8月25日号の予定			お問合せ・お申込み 愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722(渡邊)
封入作業	8月7日(金)	午後	封入作業	8月24日(月)	午後	
発送作業	8月10日(月)	午前	発送作業	8月25日(火)	午前	

## 交流会紹介 ～里山を歩きましょう～

私ども HAT-J は、NPO 法人で山の環境保護について考え、自分たちのできること(主に清掃登山)をしています。山登り以外にも毎月1回、東山の森を中心に歩いておりました。昨年9月からは、県内に避難していらっしゃる方もお誘いすることになり、6月で10回をむかえました。街中にも緑、美しい空間があります。土の道や小川のせせらぎ、小鳥のさえずりにゆったりと心をゆだね、日ごろの緊張感がほぐれていきます。私たちはもともと自然の子。マイナスイオンをいっぱいいただくと、素晴らしい大自然への感謝の気持ちで満たされます。日々の健康が当たり前ではないことに気づきたいと思います。

これまでに参加された方は、「気持ち晴々した」「明日からまた、元気に働けます」などと話してください。今のところ、毎回1～3人くらいの参加者なので、どうぞお誘いあわせのうえ、ご参加ください。美しい自然の中を歩いてみませんか。会員一同、心よりお待ちしております。

(HAT-J 東海支部 沼田満喜子)



〈清掃しながらの散策〉



〈植物などを観察中〉



〈参加者で記念撮影〉

## 招待企画紹介 ～あいち平和映画祭～

6月のセンターからのお便りの中に、あいち平和映画祭へのお誘いがありました。この映画祭は、世の中に存在するあらゆるできごとの中から、「今、私たちが知っておくべきこと」をさまざまな角度から切り取り、各監督の鋭い目線で映像化されたものが多いので、いつも興味深く拝見しておりました。昨今「弱者切り捨ての構造」が目につくことが多く、沖縄についてはことさらに顕著であり、いてもたってもいられない思いでいました。沖縄の今に関する映画「圧殺の海」が含まれていたため、ぜひ観なければと思い足を運びました。

実は私には、幼いころから沖縄には特別な思いがあります。「おまえの名前は沖縄のおばあちゃんたちからもらったんだよ。響きがとてもかわいいからね」と幼少のころ父が何度も話してくれたからです。父から見ておばあちゃんの世代というのは、戦争がなかったら命の不安もなく平凡に暮らしていた方々でしょうか。平和の礎に私と同じ名前が刻まれているかもしれません。

日米間の協定が沖縄に与えたものは何だったのでしょうか。沖縄と私を隔てているものは何でしょうか。我々が感じる豊かさへの隔たりを沖縄が抱えている問題によって垣間見ることができます。意味のない対立軸を作り、不必要な争いごとが映画の中ではクローズアップされ、問題の本質を見抜くにはやや困難です。始終不愉快な気持ちが続きましたが、沖縄の海とやんばるは果てしなく青く深く私たちを包み込み、美しい命のはぐくみを堂々と見せつけてくれました。「命とは何か」沖縄が私たちに問いかけます。決して命には格差などないのだと、再認識した1日でした。



〈上映後の様子〉

(あおぞら編集委員 小野佳奈)

## 交流会紹介 ～大熊町交流会～

私たち夫婦が福島県から名古屋市に来たのは、震災の後、5日くらい経ってのことです。着のみ着のまま空港に着いたのは夕方に近い時間だったような気がします。テレビカメラに新聞記者の姿、また空港での5日ぶりの入浴は忘れ難い思い出となりました。

4年と3ヶ月、私たちにとって短い時間だったのか、長かったのかはわかりませんが、さまざまな人たちの支援のおかげで、何不自由のない生活を続けてこれたのだと思います。先日(6月20日)地元、大熊町の関係者の人たちと愛知県の人たちが、愛知県に避難している人たちの交流会を開いてくれました。地元の菓子屋さんのパンの味は格別でした。また、他の地域での交流会の写真では懐かしい顔を発見して、話が弾みとても楽しい一時でした。私たちも年に2～3回は福島県の方へ帰りますが、逢いに行く



〈50年間営業して来た店の入り口〉

のと来てもらうのとは随分と違うものですね。嬉しかったです。

私たちも残りの人生を数えられる年齢に近づいて、今まで考えてきた老後の生活設計とは180度違うものになってしまったわけですが、これもまた人生なのかなと思えるようになって来ました。残された雑多な問題が一段落した時に(愛知県も視野に入れ)残りの人生を考えて行くのかなと思っています。

(避難元福島県双葉郡大熊町 渡邊克重)

## 交流会紹介 ～なごやであそび隊～

今年で5回目となった「なごやであそび隊<sup>※</sup>」主催によるイベント「東山動植物園に行こう！」を6月28日に行いました。今年は12家族44人のみなさんと一緒に、植物園企画のリースづくり、サイのえさやり体験、学生企画の動植物クイズを基にしたビンゴゲームを楽しみました。「わ～、サイの大きな口、すごい!」「クイズの答えは、フラミンゴ!」、子ども達の楽しそうな声が1日中聞こえていました。そんな子ども達の姿を見る保護者のみなさんもとても幸せそうでした。

学生達はこの日に向けて、さまざまな準備をしてきました。みなさんの笑顔が学生達の活動の原動力です。少しでもみなさんに喜んでいただけるように、そして心に寄り添えるように。今年度も色々な企画を考えています。ぜひ、ご参加ください!

(愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC) 秋田)



〈イベント当日の集合写真〉



〈サイを間近で見学〉



〈どんぐりで工作中〉

### ※なごやであそび隊

東日本大震災で被災された方々のために、学生が「自分たちも何かできることを」と結成した団体です。名古屋の名所を紹介するなど、みなさんに名古屋を知ってもらい、好きになっていただけるよう活動しています。

## リレートーク

名古屋に避難し4年が過ぎました。2年程経ち精神的に落ち着いてきたころ「恩返し」と「趣味」のことが頭の中を大きく占めるようになりました。この「恩返し」ですが、何故このような気持ちになったかと言えば、今回の大震災で私たち（我々夫婦と娘、9カ月の孫、そして86歳の母）が名古屋まで避難して来て現在、名古屋市民として心穏やかに生活できるのもひとえに大勢の方々の善意により成し得たものと感じているからです。この皆さまから差し伸べていただいた善意をどのようにお返ししたらよいのだろうかと考えていた時、仙台の友人から「西村、お前は貴重な体験をしたのだから、それを伝道師として話してはどうか」と言われました。私もそれが手を差し伸べてくださった人たちへの1番の恩返しになると思いました。

昨年から声が掛かれば、震災の体験談と感じたことについてお話をさせていただくようにしています。震災体験の話を聞いていただき、今後起きるであろう東南海大震災に少しでも備え、減災の気持ちを持って取組んでいただきたいと思います。最初に話をさせていただいたのは、名東区の幼稚園のお母さんたちでした。その時はお母さんたちを5グループに分け、5人の震災・原発避難

者が体験談を話しました。2回目の話は尾張旭市の瑞鳳地区の方々に体験談と、この震災から得た教訓を話させてもらいました。特に、①車のガソリンは半分になったら給油すること、②非常袋の中の乾電池の液漏れ点検、③持病がある人は処方薬の名前を書き留めておくことが大事と訴えました。3回目は同じ尾張旭市の自治会役員の皆さんを対象に話をさせていただく予定です。今後も機会があれば積極的に話をさせていただくつもりです。

関心事の2つ目は趣味の世界の話です。私は古代史、特にヤマト王権時代が好きです。邪馬台国の存在・場所、そして卑弥呼の存在。なんか夢・ロマンがありますね。東北と違って名古屋は至る所に古墳があり、私の住んでいる守山区にも有名な志段味古墳群があります。昨年、娘家族と一泊旅行で奈良の明日香村へ行き高松塚古墳の壁画や飛鳥寺の大仏を観て来ました。さらに夏には、「青春18キップ」で桜井市にある卑弥呼の墓と言われている箸墓古墳に行き、想像を膨らまして来ました。このようなことを考えながら、5歳に成長した孫娘に遊んでもらっている今日このごろです。

(避難元福島県南相馬市 西村淳一)



〈西村さんの被災した自宅〉



〈被災した自宅内部〉

### 福島県南相馬市原町区から避難された 尾子富夫さん

なんて穏やかで優しい顔付きをされているのだろうか。人生を渡ってこられた方のもつ温かみや佇まいが、尾子さんから感じられました。初めてお会いする緊張感は、自然に会話を通して解けてゆきました。その理由はとても納得できるものでした。

#### ◆ 無知は罪

定年になるまでは福祉の分野で、高齢者や障害者の方に対して支援する側でした。東京で40年暮らしていました。終の住処として60歳の定年退職後、福島県南相馬市原町区(自宅は原発から23km地点)の奥様の実家であるログハウスへ移り住んで、残りの生涯を500坪の田畑と共に自然の中でのんびり過ごすという人生プランを立て、家財道具を揃え書齋を整えました。1年後に東日本大震災の大きな揺れに遭われました。3.11は昼から相馬市にある税務署へ行く予定だった尾子さん。途中の海岸線沿いをドライブしながら原釜漁港のお店で魚料理を食べに行くつもりでしたが、なぜか急に昼ごろから気分が悪くなり計画を延期したところでした。PM2:46とてつもない地震が続いて悪夢ではないのかと鳥肌が立ったそうです。あらゆるライフラインが止まってしまうも、停電は免れたためテレビをつけっぱなしにし、目にしたのは相馬の海岸線に大津波が襲ってくる地獄絵図だったのです。命拾いしたと一言では済まされない込み上げるものを感じながらテレビを見ていました。「原子力緊急事態宣言」が発令されました。東京電力、保安院、学者達は皆一様に「状況はハッキリしません心配ありません」の繰り返し。「原子炉にダメージはない」「建屋に一部損傷があるだけ」という報道があり、また、尾子さんのご自宅は福島第一原子力発電所から23kmの位置にあり、屋内退避地域だったため、避難はするつもりは無かったそうです。圏外になっていた携帯電話に遠いところに住む親戚からの着信が奇跡的につながった時、「なぜそんなに危険なところにいるの？すぐに逃げなさい」という、あまりにも激しい口調に直感でここは危ない



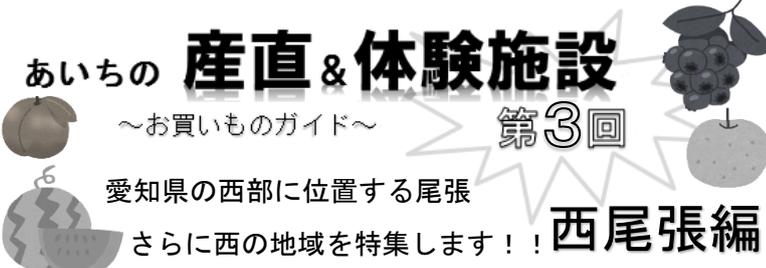
と思い避難を決めました。とりあえず3人家族の毛布だけを積み南相馬市～飯舘村～福島市～新潟県などを経て三重県の親類の家に避難という大変な道のりでした。危険だという直感だけで800kmの大移動をしてきてからは、原発事故のできるだけ正確な情報収集と新聞・雑誌・ネット・図書館で文献検証をしていくうちに分かったことは、自分が今まで無関心で無知だったことでした。

#### ◆ 人生の転換としてフクシマを考える

親類の家から菰野町に広い山荘を借りることができて、同じ原発避難者の方々との交流会を1ヶ月に1度くらい開いていました。茨城県・群馬県・千葉県などから子どもの健康を心配して、いてもたってもいられず母子避難をされてきたお母さんたちとカレーパーティーを開き、お互いの心の悩みを語り合っていました。経済的な苦悩もありますが、夫婦の対立、家族との分裂、地元との軋轢など、意識と認識の違いに板挟みになっており、問題の根深さに心を痛めながら傾聴するうちに「喜ぶものと一緒に喜び、泣くものと一緒に泣きなさい」という聖書の言葉を思い出しました。魂と心のケアの仕事がしたいとの思いが強まり、キリスト教会の牧師になるため学校に入学する道へ。60歳過ぎての語学習得(ギリシャ語・ヘブル語)は想定外のチャレンジとなり、3年間を若者たちと共に学んで来られ、もうすぐ卒業されるとうかがいました。人生を狂わせたフクシマが意気消沈することなく、学びとなったことの意味を、自分の果たすべき役割を問い続けたいと、尾さんは考えていらっしゃいます。

(あおぞら編集委員 鈴木ユカリ)

あいちの **産直 & 体験施設**  
 ~お買いものガイド~ **第3回**  
 愛知県の西部に位置する尾張  
 さらに西の地域を特集します!! **西尾張編**



その他、産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産 産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧になれます。



ドライブの先に美味しい物が待っている。名古屋市を出て西へひと走り。旬の野菜や地元の名産品、手作りの食べ物と出会える。採れたてできたと、作り手の顔も見えて安心してお買い物ができます。こんな食べ方もあったのかと新たな発見もあるかも。

**PICK UP**

**甚目寺観音てづくり朝市**

場 所： あま市甚目寺東門前 24 (甚目寺観音境内)  
 T E L： 0567-58-5733  
 営 業 日： 毎月 12 日開催  
 営業時間： 10:30~14:00 (小雨決行)



地元で採れた旬の野菜、手作りパンやお菓子の他、木工雑貨や子供雑貨、草木染めや布小物などが楽しめるだけでも楽しいお店がたくさん並んでいます。人気のお店は行列ができるほど賑わいをみせています。作り手のこだわりや情熱を直接聞けるのも魅力です。カフェやお弁当のお店もあるので、境内で食べながらのんびり過ごせます。

**西尾張の産地直売所 & ふれあい体験施設**

No	施設の名称	住所・場所	営業日	営業時間	連絡先
①	うきうき村	一宮市千秋町 浮野下向得 19	毎週金~水曜日	9:30~17:30	0586-76-7335
②	JA 愛知西・産直 広場下津店	稲沢市下津高 戸町 50 番地	毎週木~火曜日、 年始(1月1日~5日)は休業	9:00~18:00(4月~9月)、 9:00~17:00(10月~3月) 但し 12月31日 9:00~12:00	0587-34-5721
③	JA グリーン西春 日井	北名古屋市石 橋郷 68	金曜日と日曜日 のみ	9:00~17:00	0568-24-1662
④	大口町朝市会	大口町健康文 化センター北 側駐車場内	毎週土曜日	7:30~8:30	0587-95-1111 (大口町役場建設農政課)
⑤	清洲城朝市	清洲城遊歩道	毎月第1日曜日 (但し、1月は第 2日曜日)	8:00~11:00	052-400-3008 (清須市商工会本所)
⑥	JA 愛知北・産直 センター岩倉店	岩倉市大地町 西町畑 5	毎週木~火曜日	9:00~17:00	0587-38-3301

- ◇ 産直施設の営業時間は異なることがありますので電話で確認されると安心です。
- ◇ 施設のホームページからも詳細を確認していただけます。

# 旬のお出かけ情報

## ～夏の花火大会（第2弾）～

先月号に続き夏の花火大会を紹介していきます。先月に続いて今月もたくさんの花火大会が開催されます。本格的に夏の暑さが厳しくなってきましたが、夏の計画を立てて花火を観に行ってみませんか。ふだん行かない地域に足をのぼしてみるのもいいかもしれません。



### 刈谷わんさか祭り 2015 花火大会

開催場所： 刈谷市総合運動公園  
 開催日： 8月15日(土) 19:00～  
 雨天： 荒天時は中止



刈谷わんさか祭りのフィナーレとして花火大会が開催されます。音楽に合わせて打ち上げられるスターライトシンフォニーやスターメインなどが夜空を彩ります。ダイナミックなその光景をご覧ください。

### 愛知県内の花火大会一覧

開催日	名称	雨天	開催場所
8月1日(土)	岡崎城下家康公夏まつり第67回花火大会	雨天決行(荒天時は8月2日(日)に延期)	乙川河畔、矢作川河畔(岡崎市)
8月1日(土)	三好池まつり	小雨決行(荒天時は中止)	三好池(みよし市)
8月2日(日)	豊明夏まつり	小雨決行(荒天時は8月9日(日)に延期)	豊明市文化会館付近(豊明市)
8月8日(土)	第46回東海まつり花火大会	小雨決行(荒天時は8月9日(日)に延期)	中央町大池公園内(東海市)
8月9日(日)	ひとくわだてんのうまつり 一鍛田天王祭	小雨決行(荒天時は8月10日(月)に延期)	一鍛田海倉淵(新城市)
8月12日(水)	たご祭り	小雨決行(荒天時は中止)	日間賀島東浜海水浴場(知多郡南知多町日間賀島)
8月14日(金)	あすけ 足助夏まつり花火大会	小雨決行(荒天時は中止)	足助グラウンド(豊田市)
8月15日(土)	第18回こうた夏まつり	小雨決行(荒天時は8月16日(日)に延期)	ハッピーネス・ヒル・幸田付近(額田郡幸田町)
8月22日(土)	豊川市民まつり 第28回豊川手筒まつり	小雨決行(荒天時は8月23日(日)に延期)	豊川公園一帯(豊川市)
8月22日(土)	第49回常滑焼まつり協賛常滑納涼花火	小雨決行(荒天時は8月23日(日)に延期)	常滑市新開町6丁目地内(常滑市)

- ◇ 詳しい情報は主催者のホームページからご確認ください。
- ◇ 各イベントの開催日は変更または中止となる場合もございます。
- ◇ 主催者にご確認のうえお出かけください。

## マザーズハローワークを利用して

私は 2012 年にマザーズハローワークを利用しました。当時の私の条件が、週 3～4 日勤務。幼稚園の送り迎えが必要(預かり保育なし)。そんな条件でも行ける会社はあるのか不安もありましたが、子どもの急病でも休みの取りやすい、安心して働けるパート先を見つけることができ、今も継続して勤めています。子育ての大変さを分かった上でのアドバイスがもらえて、とても心強かったです。

当時は震災のことで精神的に不安定でしたが、快適な空間でゆっくりと話を聞いてもらえたことで、気持ちが落ち着いたのを覚えています。応募書類の書き方など、基本的なことからアドバイスしてもらえました。印象に残っているのが、私が自己アピールをなかなか書けずにいた時に、「大きな声で挨拶できるというのも立派な長所ですよ！」と褒めていただき、小さなことから書き出していきながら、自信を取り戻して仕事探しに前向きになれたことです。丁寧に、ゆっくりと対応してもらえるのが、マザーズハローワークの良さだと思います。マザーズハローワークを知らない方、しばらくハローワークに行っていない方はぜひ、一度マザーズハローワークに足を運んでみてください。きっとハローワークのイメージが変わると思います。

9 月上旬に就職セミナー(事務職)があるそうです。スーツでなくても参加できる、気楽なセミナーとのこと。託児もあるそうです。ぜひこの機会に一步踏み出してみたいでしょうか。

(あおぞら編集委員 山本由香)

※詳しくは定期便(8/10)に封入予定のチラシをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

## 支援センターからのお知らせ

### <編集後記>

- ◇ 旬の赤しそでジュースを作りました。真っ赤な色なのでエネルギー補給に最適です！(O. A)
- ◇ マザーズハローワークはお勧めです。来月号で私の体験談を書かせてもらいますので楽しみに～(Y. Y)
- ◇ 主人の実家の 2 階から花火が出てきました。2011 年に買ったものです。今年はこれで花火したいです。(Y. S)
- ◇ 東山の里山あるきに参加しました。緑の風が吹く気持ちのよい日でした。木立ちの中を歩き気分もスッカリ。ぜひ、ご参加ください。(E. K)
- ◇ Eco 検定を今月受検します。(J. I)
- ◇ 5 月末に宮城県七ヶ浜町と石巻市を、翌日福島県南相馬市と浪江町を訪問してきました。復興はまだまだだと思いました。住民と行政が丁寧に話し合って、復興計画が良いものとなることを祈念します。(H. T)

### <8月の交流会等イベントカレンダー>

開催日	イベント名	開催地域	あおぞらに関する ご意見ご感想はこちら
8月2日(日)	気軽に茶饮み交流会	東海市	
8月8日(土)	子育てつどいの広場 in 熱田区	熱田	〒460-0001 名古屋市中区三の丸 3-2-1 愛知県東大手庁舎 1 階 愛知県被災者支援センター TEL : 052-954-6722 FAX : 052-954-6993 mail : aozora@aichi-shien.net
	第 25 回パッチワーククラブ	東区	
8月22日(土)	第 26 回パッチワーククラブ	東区	
8月26日(水)	里山を歩きましょう	千種区	
8月29日(土)	第 34 回囲碁クラブ	東区	